

感染性胃腸炎の流行に備えましょう!



県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↗ 4	2	百日咳	→ 0	0
RSウイルス感染症	↘ 51	55	ヘルパンギーナ	↘ 19	36
咽頭結膜熱	↗ 21	16	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↘ 40	47
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗ 71	49	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↗ 409	382	流行性角結膜炎(はやり目)	↘ 40	47
水痘	↗ 12	6	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↘ 51	89	無菌性髄膜炎	→ 1	1
伝染性紅斑(りんご病)	↘ 49	62	マイコプラズマ肺炎	↗ 13	10
突発性発しん	↘ 41	27	クラミジア肺炎	→ 0	0
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	→ 0	0

報告が多い感染症

- 感染性胃腸炎
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
- RSウイルス感染症
- 手足口病

大きな流行が発生又は継続しつつある地域

- 手足口病 : 菊池
- 流行性角結膜炎: 天草、熊本市
- 伝染性紅斑 : 天草、菊池

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
熊本市保健所	4	25	4	29	96	1	11	18	12			4		29			1	13		
山鹿保健所		2		1	9		2		3			2	*	*						
菊池保健所		6	5	11	87	4	28	12	4		6	11		2						
阿蘇保健所					5								*	*						
御船保健所				1	14		1						*	*						
八代保健所		4	1	3	16	2		2	7		4									
水俣保健所		5		5	5			1			1		*	*						
人吉保健所		1		1	21	1	1		1		1	5	*	*						
有明保健所		1	9	9	82	3	5	3	5		1	16								
宇城保健所		5	2	2	34		1		3		1	2	*	*						
天草保健所		2		9	40	1	2	13	6		5			9						
計	4	51	21	71	409	12	51	49	41	0	19	40	0	40	0	1	13	0	0	

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上
インフルエンザ	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上						
RSウイルス感染症	51	6	15	19	8	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0						
咽頭結膜熱	21	0	2	5	4	5	0	2	0	0	1	0	1	0	1						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	71	0	2	1	1	7	9	15	7	6	8	5	7	1	2						
感染性胃腸炎	409	5	36	73	38	48	42	23	31	17	14	17	33	10	22						
水痘	12	0	0	3	4	0	2	1	0	1	1	0	0	0	0						
手足口病	51	2	1	21	13	8	3	1	0	2	0	0	0	0	0						
伝染性紅斑	49	0	2	3	7	6	12	5	6	4	3	0	1	0	0						
突発性発しん	41	2	17	20	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
ヘルパンギーナ	19	1	5	7	3	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0						
流行性耳下腺炎	40	0	0	2	9	4	11	8	2	2	1	0	0	0	1						
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	40	0	0	1	1	4	1	2	2	2	1	0	0	1	5	8	6	1	5	0	0
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	13	0	2	7	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

マイコプラズマ肺炎の報告が続いています

マイコプラズマ肺炎が増加しています。9月に入って急激に増加し、同月下旬にはシルバーウィークの影響で一旦減少しましたが、その後も毎週報告数は増え続けています。患者は主に小学生までの幼児や学童が中心となっています。

晩秋から早春にかけて報告数が多くなる傾向がありますが、近年5年間でも最も多い報告数となっていますので、引き続き注意が必要です。

マイコプラズマは細菌の一種で、感染患者からのくしゃみや鼻水による飛沫感染、接触感染により感染すると言われています。感染すると、2~3週間の潜伏期を経て、発熱、全身倦怠、頭痛などの症状が見られ、その後咳が始まることが多く、乾性の咳(痰を伴わない乾いた咳)から徐々に強くなり、解熱後も長く続くと言われています(3~4週間程)。

特異的な予防法はなく、丁寧な手洗いやうがいなどの一般的な感染症予防が重要です。また、患者との濃厚な接触を避けることが有効な予防法の一つと言われています。

